

国立環境研究所『環境意識に関する世論調査報告書 2016』

2016年9月

気候変動問題とエネルギー選択について、日本人の意識を把握し、今後の環境政策の資料とすることを目的に実施したアンケート調査の結果。全国の18歳以上の男女3,000人を対象として、2016年6月10日～7月4日に調査員による面接聴取法で調査。有効回収数1,640人（回収率54.7%）。

まとめ：ごみかん運営委員 小野寺 勲

■気候変動についての心配 (%)

全く心配でない	1.3
あまり心配でない	6.6
やや心配である	27.6
心配である	41.7
非常に心配である	21.6
わからない	1.2

■気候変動の原因 (%)

全て自然現象によるものだ	3.5
おおかたは自然現象に原因がある	6.3
一部は自然現象、一部は人間の活動に原因がある	41.2
おおかたは人間の活動に原因がある	36.7
全て人間の活動に原因がある	10.1
気候変動は発生していない	0.5
わからない	1.6

■気候変動を減らすために自分自身の生活を変える必要性 (%)

そう思う	27.0
ややそう思う	45.6
どちらでもない	11.6
あまりそう思わない	8.8
そう思わない	4.3
わからない	2.6

■気候変動に対する日本の取り組み (%)

今までほどの対策はしなくてもよいと思う	3.1
どちらかと言えば今までほどの対策はしなくてもよいと思う	5.2
どちらとも言えない	19.8
どちらかと言えば今まで以上の対策をとるべきだと思う	44.9
今まで以上の対策をとるべきだと思う	22.3
わからない	4.8

■環境保全か経済成長か (%)

経済成長が遅くなり、失業が起きて環境を守るべきだ	25.7
環境がある程度悪化しても、経済成長を優先し雇用を確保すべきだ	26.4
わからない	47.9

■自宅の省エネの現状（電力消費量の東日本大震災の年と比べた増減） (%)

減った（電力消費量で10%以上）	7.7
やや減った（電力消費量で5～10%程度）	25.7
ほとんど・全く変わらない（電力消費量で±5%以下程度）	49.6
やや増えた（電力消費量で5～10%程度）	6.1
増えた（電力消費量で10%以上）	1.3
わからない	9.6

■日本に適している電源 (%)

太陽熱・太陽光	70.0
水力	67.9
風力	67.1
地熱	53.3
天然ガス	50.5
海洋（波力や海流をつかうもの）	47.7
樹木、穀物、人畜の排泄物などによるバイオマス	46.7
石油	35.3
原子力	21.1
石炭	15.0

※%は「非常に適している」+「やや適している」

■原子力発電のリスクと便益の比較 (%)

便益はリスクを大きく上回る	15.9
便益はリスクを若干上回る	11.9
便益とリスクはほぼ同じくらいである	16.0
リスクは便益を若干上回る	10.2
リスクは便益を大きく上回る	31.2
どれでもない	3.4
わからない	11.5